



01



02

1~4 猪苗代の夜空を彩った花火。音楽をバックに約2000発の花火が打ち上げられました
 5 花火大会に100万円を寄付した東亜道路株式会社の子会社 齋藤秀雄福島営業所次長に感謝状が贈呈されました
 6 ナスカのライブステージ
 7 多くの親子連れが集まったアンパンマンショー



03



04



05



06

いなわしろ花火大会 -絆-



07

いなわしろ花火大会は8月13日、町運動公園で開かれ、約2000発の花火が夜空を彩りました。
 町民、県民らの絆を深め、希望の花火でふくしまを元気にしようとして「絆」をテーマに企画されたこの花火大会。音楽に合わせて、打ち上げ花火やスターマインなど、さまざまな花火が夜空を鮮やかに彩り、訪れた親子連れなどは夜空に大輪が咲くたびに、歓声を上げていました。
 花火大会の前には、「それいけ！アンパンマンショー」やナスカのライブコンサートなども開かれ、訪れた人たちは多彩なステージを満喫していました。



Pick Up

今月のイベント

日本舞踊4団体が合同発表会を開催

町内の日本舞踊4団体で構成する猪苗代町舞踊協会（若柳和香会長）の発表会は8月19日、学びいなかで開催されました。若柳流静舞会、花柳流みほ乃会、内海流道京会、紫派藤間流紫真藤会の会員約50人が41の演目を披露。華麗な舞で会場に詰めかけた約500人の観客を魅了しました。
 訪れた人たちは師匠たちの見事な舞や子どもたちのかわいらしい踊りなど、一つの演目ごとに大きな拍手を送り、ステージを堪能していました。
 終盤の演目「水戸黄門」は、途中から寸劇に。お決まりの印籠を出すシーンでは「ここにおわす方をどなたと心得る。駅前の相原さんではないぞ」と格さんかとほけると、場内は笑いに包まれました。一件落着の後、出演者らによって餅が振る舞われ、再び場内は盛り上がりを見せました。
 すべての演目が終わると出演者らが壇上に。代表して花柳寿美衡副会長がお礼のあいさつを述べ、三本締めでステージの成功を祝いました。
 郡山から発表会を見に訪れた佐藤定子さんは「流派の垣根を越えて一緒にやるのは素晴らしいこと。とても良いステージでした」と感想を述べました。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Sep.2012
 9
 No.623

今月の表紙



【撮影日】 8月19日
 【撮影場所】 学びいなか

Pick Up でも紹介した町舞踊協会発表会。リリしい表情で踊るのは、若柳流の宗像勇樹さん（猪苗代中2年）。イケメンの華麗な舞いに、観衆の目がくぎ付けに。演舞が終わると、場内からは大きな拍手が送られました。

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 いなわしろ花火大会
- 04 平成24年度東西長寿番付表
- 06 スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO
- 08 まちのわだい
- 12 笑顔でこんにちは／猪苗代そば紀行／保健だより
- 14 学びの泉
- 16 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー